

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月9日

【四半期会計期間】 第44期第3四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 ユニパルス株式会社

【英訳名】 UNIPULSE CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼社長 吉本喬美

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋久松町9番11号

【電話番号】 03(3639)6120

【事務連絡者氏名】 管理本部長 齋藤洋

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋久松町9番11号

【電話番号】 03(3639)6120

【事務連絡者氏名】 管理本部長 齋藤洋

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第43期 第3四半期 連結累計期間	第44期 第3四半期 連結累計期間	第43期
		自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日	自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日	自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日
売上高	(千円)	3,328,916	3,727,249	4,744,736
経常利益	(千円)	600,178	749,698	824,311
四半期(当期)純利益	(千円)	361,201	441,992	499,638
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	359,834	443,231	496,780
純資産額	(千円)	4,988,143	5,434,291	5,128,890
総資産額	(千円)	8,317,369	8,564,167	8,554,876
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	72.26	88.42	99.95
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)		87.67	
自己資本比率	(%)	59.9	63.2	59.8
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	374,901	288,344	811,027
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	36,142	45,872	31,633
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	509,151	417,088	673,677
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	3,500,302	3,028,237	3,776,349

回次	会計期間	第43期 第3四半期 連結会計期間	第44期 第3四半期 連結会計期間
		自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	14.90	29.50

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第43期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 第43期第3四半期連結累計期間及び第43期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当社は、平成24年4月27日開催の取締役会において、株式会社ヨシモトの不動産賃貸業を譲受け、当社及び当社連結子会社である株式会社ナノテックスの本社ビルを取得することについて決議し、同日付で取得しております。なお、詳細につきましては、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（企業結合等関係）」に記載のとおりであります。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から復興需要等を背景として緩やかな回復基調が続きましたが、欧州債務危機やこれを背景とした海外景気の減速、デフレの影響等により景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、従来顧客への拡販と新規顧客開拓に努めました。また、研究開発活動に邁進しつつも原価低減・販売管理費抑制に努めた結果、業績は予定通りに推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,727百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益は727百万円（前年同期比24.9%増）、経常利益は749百万円（前年同期比24.9%増）、四半期純利益は441百万円（前年同期比22.4%増）となりました。

#### 電子機器製造事業

企業の設備投資需要が緩やかに持ち直していることもあり、ウェイング・FA（ファクトリーオートメーション）分野、ロードセル等商品分野が堅調に推移いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,201百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は685百万円（前年同期比22.2%増）となりました。

#### 電設事業

新規顧客の開拓、小口工事への積極的な営業展開、固定費の削減等に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は525百万円（前年同期比17.6%増）、営業利益は38百万円（前年同期比120.1%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間の総資産は前連結会計年度末に比べ9百万円増加し、8,564百万円となりました。これは主に、現金及び預金が343百万円、有価証券（主に短期の譲渡性預金）が405百万円、原材料及び貯蔵品が51百万円、差入保証金が26百万円、繰延税金資産が49百万円減少したものの、受取手形および売掛金が352百万円、建物及び構築物が207百万円、土地が355百万円増加したことによるものであります。なお、建物及び構築物、土地の増加は「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（企業結合等関係）」に記載があります本社ビル取得による影響であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ296百万円減少し、3,129百万円となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が266百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が234百万円、工事未払金が29百万円、未払法人税等が242百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より305百万円増加し、5,434百万円となりました。これは主に、四半期純利益441百万円を計上したものの、配当金の支払いにより149百万円減少したことによるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により288百万円減少し、投資活動により45百万円減少し、財務活動により417百万円減少し、この結果、現金及び現金同等物は748百万円の減少となり、四半期末残高は3,028百万円となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益755百万円の計上、たな卸資産の減少による67百万円の増加等があったものの、売上債権の増加による364百万円の減少、仕入債務の減少による263百万円の減少、法人税等の支払による497百万円の減少等により、288百万円の減少（前年同期は374百万円の増加）となりました。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、差入保証金の減少による収入29百万円等があったものの、有形固定資産の取得による支出20百万円、事業譲受による支出66百万円等があったため45百万円の減少（前年同期は36百万円の減少）となりました。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入100百万円があったものの、長期借入金の返済による支出347百万円、社債の償還による支出20百万円、配当金の支払額149百万円があったため、417百万円の減少（前年同期は509百万円の減少）となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は304百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 主要な設備

当社は平成24年4月27日に本社ビルを取得しました。なお、詳細につきましては「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（企業結合等関係）」に記載のとおりであります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,000,000
計	17,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,377,500	5,377,500	東京証券取引所 (市場第二部)	完全議決権株式であり、権利 内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式。単元 株式数は100株であります。
計	5,377,500	5,377,500		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日		5,377,500		1,733,612		1,433,505

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 378,800		株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,998,000	49,980	同上
単元未満株式	普通株式 700		同上
発行済株式総数	5,377,500		
総株主の議決権		49,980	

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ユニパルス株式会社	東京都中央区 日本橋久松町9-11	378,800		378,800	7.04
計		378,800		378,800	7.04

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
常務取締役 (経営企画室長)	常務取締役 (経営企画室長兼 管理本部長)	和田 倫幸	平成24年4月1日



## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年10月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,271,315	928,237
受取手形及び売掛金	1,079,586	<sup>2</sup> 1,431,748
完成工事未収入金	41,903	45,144
有価証券	2,505,033	2,100,000
商品及び製品	129,831	117,169
仕掛品	599,763	599,048
原材料及び貯蔵品	479,499	427,547
未成工事支出金	91,324	85,223
繰延税金資産	135,986	93,052
その他	36,630	26,601
貸倒引当金	2,606	4,817
流動資産合計	6,368,267	5,848,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	<sup>1</sup> 561,805	<sup>1</sup> 769,407
土地	920,996	1,276,433
その他（純額）	<sup>1</sup> 147,920	<sup>1</sup> 151,013
有形固定資産合計	1,630,721	2,196,854
無形固定資産	14,834	11,536
投資その他の資産		
投資有価証券	43,888	43,867
繰延税金資産	21,687	15,353
投資不動産（純額）	196,057	193,780
その他	285,823	260,223
貸倒引当金	6,404	6,406
投資その他の資産合計	541,052	506,818
固定資産合計	2,186,608	2,715,209
資産合計	8,554,876	8,564,167

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	858,276	2 623,852
工事未払金	91,114	61,772
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
1年内返済予定の長期借入金	473,170	511,240
未払法人税等	338,891	96,786
賞与引当金	-	57,931
その他	273,746	200,826
流動負債合計	2,175,198	1,692,408
固定負債		
社債	60,000	40,000
長期借入金	776,530	1,004,700
退職給付引当金	44,411	40,931
役員退職慰労引当金	5,100	6,000
負ののれん	57,203	38,291
長期未払金	295,543	295,543
その他	12,000	12,000
固定負債合計	1,250,788	1,437,466
負債合計	3,425,986	3,129,875
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,733,612	1,733,612
資本剰余金	1,733,505	1,733,505
利益剰余金	1,843,329	2,135,362
自己株式	187,082	187,119
株主資本合計	5,123,363	5,415,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,466	9,386
為替換算調整勘定	435	2,594
その他の包括利益累計額合計	8,030	6,791
新株予約権	13,556	25,723
純資産合計	5,128,890	5,434,291
負債純資産合計	8,554,876	8,564,167

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,328,916	3,727,249
売上原価	1,660,859	1,827,225
売上総利益	1,668,057	1,900,023
販売費及び一般管理費	1,085,289	1,172,255
営業利益	582,767	727,768
営業外収益		
受取利息	8,474	6,647
受取配当金	3	3
負ののれん償却額	18,911	18,911
不動産賃貸料	18,887	15,067
その他	4,552	1,808
営業外収益合計	50,829	42,438
営業外費用		
支払利息	20,010	15,545
不動産賃貸費用	3,908	3,195
その他	9,499	1,767
営業外費用合計	33,418	20,508
経常利益	600,178	749,698
特別利益		
固定資産売却益	40	94
負ののれん発生益	-	2,878
貸倒引当金戻入額	4,600	-
資産除去債務戻入益	-	3,267
移転損失引当金戻入益	205	-
特別利益合計	4,846	6,239
特別損失		
固定資産除却損	205	238
固定資産売却損	-	80
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,089	-
特別損失合計	3,295	318
税金等調整前四半期純利益	601,730	755,618
法人税、住民税及び事業税	259,725	266,123
法人税等調整額	19,196	47,502
法人税等合計	240,529	313,626
少数株主損益調整前四半期純利益	361,201	441,992
四半期純利益	361,201	441,992

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	361,201	441,992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,293	920
為替換算調整勘定	927	2,159
その他の包括利益合計	1,366	1,239
四半期包括利益	359,834	443,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	359,834	443,231
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	601,730	755,618
減価償却費	47,655	46,289
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,089	-
のれん償却額	15,436	-
負ののれん償却額	18,911	18,911
負ののれん発生益	-	2,878
資産除去債務戻入益	-	3,267
貸倒引当金の増減額（は減少）	4,600	2,212
退職給付引当金の増減額（は減少）	4,091	3,480
賞与引当金の増減額（は減少）	-	57,931
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	3,150	900
移転損失引当金の増減額（は減少）	9,571	-
受取利息及び受取配当金	8,477	6,650
支払利息	20,010	15,545
固定資産売却損益（は益）	40	13
固定資産除却損	205	238
売上債権の増減額（は増加）	10,308	364,342
たな卸資産の増減額（は増加）	506,289	67,239
仕入債務の増減額（は減少）	308,005	263,766
未成工事受入金の増減額（は減少）	23,993	32,772
未払金の増減額（は減少）	8,977	92,473
未払消費税等の増減額（は減少）	17,464	19,945
その他	1,279	14,008
小計	441,447	217,028
利息及び配当金の受取額	8,537	5,972
利息の支払額	18,582	13,969
法人税等の支払額	56,500	497,376
営業活動によるキャッシュ・フロー	374,901	288,344
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	5,554	20,252
有形固定資産の売却による収入	190	262
無形固定資産の取得による支出	1,104	1,192
事業譲受による支出	-	66,443
投資有価証券の取得による支出	30,900	900
貸付金の回収による収入	1,064	1,000
その他	162	41,651
投資活動によるキャッシュ・フロー	36,142	45,872

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	344,230	347,960
社債の償還による支出	90,000	20,000
自己株式の取得による支出	24	37
配当金の支払額	74,896	149,091
財務活動によるキャッシュ・フロー	509,151	417,088
現金及び現金同等物に係る換算差額	191	3,194
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	170,584	748,111
現金及び現金同等物の期首残高	3,670,886	3,776,349
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,500,302	1 3,028,237

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
(有形固定資産の減価償却の方法の変更) 当社グループは、法人税法の改正に伴い、当第3四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。



【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<p>1 有形固定資産の減価償却累計額</p> <p style="text-align: right;">1,165,849千円</p> <p>なお、減価償却累計額には減損損失累計額を含めて表示しております。</p>	<p>1 有形固定資産の減価償却累計額</p> <p style="text-align: right;">1,182,053千円</p> <p>なお、減価償却累計額には減損損失累計額を含めて表示しております。</p> <p>2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。</p> <p>なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。</p> <p style="text-align: right;">受取手形 45,497千円</p> <p style="text-align: right;">支払手形 17,100千円</p>

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
<p>1 通常の販売目的で保有する棚卸資産の収益性の低下による簿価切下額</p> <p>売上原価 817千円</p>	<p>1 通常の販売目的で保有する棚卸資産の収益性の低下による簿価切下額</p> <p>売上原価 817千円</p>
<p>2 販売費及び一般管理費の主なもの</p> <p>役員報酬 192,631千円</p> <p>給与手当 301,653 "</p> <p>役員退職慰労引当金繰入額 3,150 "</p> <p>研究開発費 222,691 "</p> <p>のれん償却額 15,436 "</p>	<p>2 販売費及び一般管理費の主なもの</p> <p>役員報酬 208,231千円</p> <p>給与手当 288,321 "</p> <p>役員退職慰労引当金繰入額 900 "</p> <p>研究開発費 304,403 "</p> <p>賞与引当金繰入額 18,609 "</p> <p>貸倒引当金繰入額 2,212 "</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年6月30日現在)</p> <p>現金及び預金勘定 3,495,269千円</p> <p>有価証券勘定(MMF) 5,032 "</p> <p>現金及び現金同等物 3,500,302千円</p>	<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年6月30日現在)</p> <p>現金及び預金勘定 928,237千円</p> <p>有価証券勘定(譲渡性預金) 2,100,000 "</p> <p>現金及び現金同等物 3,028,237千円</p>

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年11月12日 取締役会	普通株式	74,980	15	平成22年9月30日	平成22年12月20日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動  
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月11日 取締役会	普通株式	149,959	30	平成23年9月30日	平成23年12月19日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	電子機器 製造事業	製 電設事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,881,992	446,924	3,328,916	-	3,328,916
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,881,992	446,924	3,328,916	-	3,328,916
セグメント利益	561,192	17,591	578,783	3,983	582,767

(注) 1.セグメント利益の調整額3,983千円には、セグメント間取引消去等が含まれております。  
2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	電子機器 製造事業	製 電設事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,201,554	525,695	3,727,249	-	3,727,249
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,201,554	525,695	3,727,249	-	3,727,249
セグメント利益	685,822	38,726	724,548	3,219	727,768

(注) 1.セグメント利益の調整額3,219千円はセグメント間取引消去3,226千円及び固定資産の調整額 6千円が含まれております。  
2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「電子機器製造事業」セグメントにおいて、固定資産の取得に伴う事業の譲受けを行いました。  
これに伴い2,878千円の負ののれん発生益を計上しております。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

相手企業の名称及び事業の内容

相手企業の名称 株式会社ヨシモト

事業の内容 不動産賃貸業等

企業結合を行った主な理由

当社及び当社連結子会社である株式会社ナノテックス(以下、ナノテックス)は、株式会社ヨシモトから久松町ビルを賃借し、本社として使用しておりました。

今回譲り受けた株式会社ヨシモトの不動産賃貸業は当社及び当社連結子会社であるナノテックスに対するもののみであり、形式上不動産賃貸業の譲受けに該当いたしますが、久松町ビルを固定資産として取得し当社グループが自己所有することが本件の主旨であります。

企業結合日

平成24年4月27日

企業結合の法的形式

事業譲受

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

平成24年4月27日から平成24年6月30日まで

(3) 取得した事業の取得原価及びその内訳

現金 66,443千円

(4) 発生した負ののれん発生益の金額及び発生原因

発生した負ののれん発生益の金額

2,878千円

発生原因

受け入れた資産及び引き受けた負債の純額が取得原価を上回ったことによります。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

土地、建物及び構築物等固定資産 585,286千円

長期借入金 514,200千円

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	72円26銭	88円42銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	361,201	441,992
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	361,201	441,992
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,998	4,998
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		87円67銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
(うち、支払利息(税額相当額控除後))		
普通株式増加数(千株)		43
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	平成22年11月9日付与の新株予約権方式のストック・オプション 491,900株	

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月 7日

ユニパルス株式会社  
取締役会 御中

### 優成監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 加 藤 善 孝 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 小 松 亮 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているユニパルス株式会社の平成23年10月1日から平成24年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年10月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ユニパルス株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。